

Manabin

FREE



manami♥ru [まなみーる岩見沢市民会館・文化センター広報誌]



＜今月の特集＞

【演奏会レポート】「交響詩岩見沢」よ永遠に

【連載コラム】交響詩岩見沢と私 ＜最終回＞

【ロビー企画】まなばた

photo: 江本 秀幸 (Glaretone)

「交響詩岩見沢」よ永遠に

約半世紀にわたる活動に

幕を閉じる

「交響詩岩見沢の会」

渾身のファイナルステージ

この想いよ、永遠に

ステージには250名の参加団員がそびえ立つ

2019.6/23 sun @ まなみーる大ホール



オープニング／切り絵作家・黒川絵理奈氏が手がける映像が映し出され、交響詩岩見沢の世界へいざなう



昨今では最大級となる250名の団員を抱え相澤清氏の指揮は熱を帯びる



第2章より子どもたち19名が参加幅広い世代が入り交じり、「交響詩」は佳境に向かう



様々な光の演出で「交響詩」各章の世界観を表現するこの日、会場には約1,000名の聴衆が詰めかけた



アンコール／作詩・加藤愛夫氏の写真が映し出され加藤氏の朗読が会場に響き渡る



カーテンコール／交響詩岩見沢の会幹部へ聴衆より大きな拍手が贈られた

来場者の声（アンケートより抜粋）

■ 演奏会の感想

250人以上の交響詩岩見沢の合唱は、とても迫力があって、本当に素晴らしかったです。素晴らしい演奏をありがとうございました。

「交響詩岩見沢」初めて聞きました。岩見沢の開拓の様子、季節、人々の生きている姿が聞きながら目に浮かびました。この歌との出会いに感謝します。ピアノ、エレクトーンの演奏も迫力があリ素敵でした。

今日はありがとうございました。心に残る一刻でした。歌い継いでもらいたいです。

岩見沢市民として、一度聞きたいと思っていた「交響詩岩見沢」、こんなにスケールが大きく、感動する歌だとは思っていませんでした。最後の会というのが残念ですが、貴重な機会でした。最後の朗読の後の合唱では涙があふれました。

練習が大変だったのではないかとしのべれます。毎年ではなくとも、数年後に復活するなど、いつかまたやってほしいですね。

■ 交響詩岩見沢の思い出

光陵中学校の在学中、合唱部で「交響詩岩見沢」を歌いました。手書きの楽譜を見て、一生懸命練習したことを思い出します。第三章は卒業式で歌っていたからか、歌詞を読むとメロディーが口ずさめました。いつまでも心に残っていくと思います。

小学校で歌った思い出があります。歌詩が格調高く、かっこいいと思っていました。ソプラノに憧れたアルトでした。今日は、演出やライトも素晴らしく、最後に合唱に加わることもでき、びっくりしながらも、久しぶりに歌うことができて嬉しかったです。

教職員になった頃に、生徒と随分、練習した日々を思い出しました。40年歌い継がれたこの歌は、多くの市民が歌うことができると思います。いろいろな思い出が浮かびます。

ご来場誠にありがとうございました!!

「交響詩岩見沢と私」

*Symphonic poem
iwamizawa*

第7回(最終回) 相澤 清

交響詩岩見沢の会 会長

昭和48年11月「交響詩岩見沢」は完成した。同年12月4日岩見沢文化連盟主催の「交響詩岩見沢作詩者加藤愛夫先生を囲む夕べ」で、第3章「北国の象徴」のメロディー部分を歌うことになり、これが「交響詩岩見沢」との出会いだった。私の稚拙な歌に参加者一同が深い感動に打たれ、翌年実施される「披露演奏会実現」に繋がったとの事でした(岩見沢文化連盟20周年誌より)。

関わり上、事務局長を引き受けたが、その後45年も演奏の準備をするとは思ってもみなかった。今思い返すと、どの演奏が良かったと

言う思い出はない。なぜならば、舞台に立っていて、会場の椅子で聞いたことがないからだと思う。演奏後の評は私の言葉にはないのだ。歌い終えた満足感だけが心に残っている。このことは「交響詩岩見沢」の合唱に参加している人たち共通の実感だと思う。この曲の素晴らしさは筆舌に尽くしがたく、だからこそ今日まで続いてきたと信じている。

数年前「交響詩岩見沢の会」会長が急逝され、長年携わってきた事務局長から会長になったが、私には荷が重すぎると思っていた。歴代の会長や指揮者がやむを得ない事情で去ら

れ、自分に課せられた仕事は「交響詩岩見沢」に区切りを付けることと感じていた。

本日、合唱団の皆さんは「交響詩岩見沢」を謳歌して欲しい。そして私はピアノとエレクトーンに支えられ、皆さんの熱い視線を一心に受け、タクトを持ちたい。

「交響詩岩見沢よ永遠に」

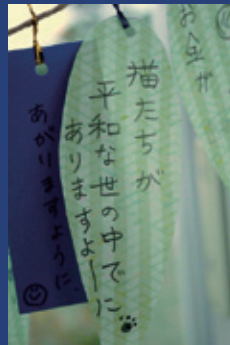
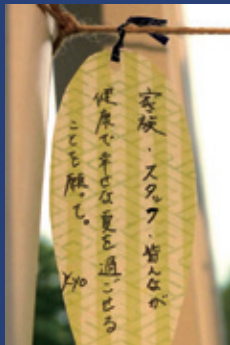
<ファイナルステージ公演プログラムより引用>

EVENT ~ ロビーにて開催

まなばた MANABATA

「文月や 六日も常の 夜には似ず」

この句は、芭蕉が書いた俳句です。文月の六日(現在の7月6日)、見上げる月がどことなく 趣を感じる美しいものだったのですね。月を感慨深く映したのは、七夕の前日だったからです。

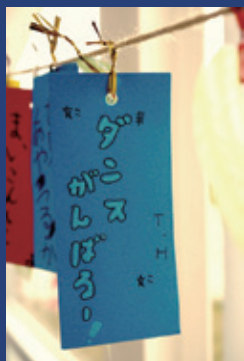


今年もまた恒例とも言える七夕企画、『まなばた』が6月28日より開催されました。展示が始まりおよそ2週間が経過した時点でも、既に300を超えるみなさまの願い事でホワイエが彩られています。吹奏楽の練習で立ち寄った学生、サークル活動

でまなみーるへ足を運んだお客様や、偶然立ち寄った方など、実に多くの方々が笹の葉に願いを書いてくださいました。

まなみーるを運営している職員にも、たくさんの願い事を書いていただきました♪(写真右2枚) 思わず心が和むものから、ユニークなものまで様々です!

他にも心あたまる素敵な願い事がたくさん飾られています。まなばたは8月7日まで開催! まだまだ皆様の素敵な願い事をたくさんお待ちしております!



	行 事 名	開場・開演-終演	会 場	入 場 料	主 催 者 ・ 問 合 せ 先
2日(金)	夏のミニコンサート Vol.5 岩見沢西高等学校吹奏楽局	17:30・18:00～	大ホール	入場無料	0126-22-0071 西高校・高橋
3日(土)・4日(日)	第64回 空知地区吹奏楽コンクール	3日 10:20・11:00～ 4日 9:50・10:30～	大ホール	1,000円	0125-24-7341 滝川西高校・佐藤
6日(火)-12日(月)	アーティスト ファミリーレジデンス IN岩見沢	公開製作 展示室 6日～12日 9:00-22:00 作品展示 ロビー 12日～31日 9:00-22:00			0126-22-4235 はまなすアート
11日(日)	スーパーライブ笑 in岩見沢	一部 11:30・12:00～ 二部 15:00・15:30～	大ホール	S席 4,000円 A席 3,500円 窓口取扱	0166-76-9490 (有)サウンド企画
17日(土)	岩見沢東高校合唱部OB会 第45回合同演奏会	14:00・14:30～	大ホール	500円 高校生以下 無料	090-4878-5063 小沼
17日(土)・18日(日)	2019年 第27回岩見沢市学生書道席書大会展覧会	17日 13:00-17:00 18日 10:00-16:00 ※表彰式は 18日(日)14:00より音楽室にて	展示室	入場無料	0126-23-9242 岩見沢書道連盟・安田
20日(火)	岩見沢市戦没者追悼式	13:00～	中ホール	入場無料	0126-23-4111(内線257) 市・健康福祉部福祉課
22日(木)・23日(金)	2019年度 高文連空知支部秋季書道展・研究大会	22日 12:00-17:00 23日 10:30-15:00	展示室	入場無料	0125-52-3168 砂川高校・中谷
24日(土)	岩見沢文化連盟 創立60周年記念 秀作芸能発表会	13:00～	大ホール	入場無料	0126-24-3341 文化連盟事務局・岡
25日(日)	ザ・クラシックコンサート岩見沢 2019	12:30・12:50-16:30	大ホール	前売 800円 当日 1,000円 窓口取扱	0126-23-8936 木村
25日(日)	若い芽たちによるピアノコンサート	10:30-16:10	中ホール	入場無料	0126-26-3732 棚橋
25日(日)	茶道裏千家淡交会 学校茶道連絡協議会支部内研修会	10:30-12:30	展示室	一般参加料 1,000円	011-761-2455 太田
31日(土)	第18回依田紀基杯争奪全道こども囲碁大会	開会式 10:20～	中ホール	開会式見学は入場無料 ※ 競技参加希望者は 7/31までの事前申込み	0126-35-5129 市教委 文化・スポーツ振興係



「まな便」とは

音楽、芸術、アート、まなみーるでのイベントなどをお客様に届けたい。そんな思いを込め、まなみーる便、略して「まな便」と名づけました。毎月、様々な情報をお届けいたします。

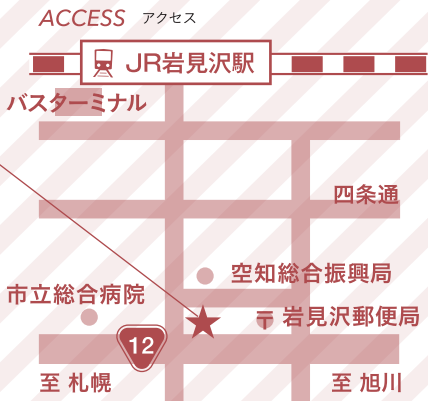


まなみーる岩見沢市民会館・文化センター

〒068-0029 北海道岩見沢市9条西4丁目1 TEL 0126-22-4233／FAX 011-351-2556
開館時間 午前9時～午後10時 ／ 休館日 年末年始（12月29日～1月3日）



PC サイト www.manamiru.jp
スマホサイトはこちら <http://www.manamiru.jp/sp/>



JR函館本線 岩見沢駅下車 徒歩 約10分 ／ バス 駅前バスターミナルから中央バスで高速岩見沢号、かえて団地循環線、南町・春日循環線、万字線、幌向線「市民会館前」下車 徒歩1分